

# 令和5年 第4回 根室市教育委員会 会議録

## 1. 公開案件の審議（会議録省略）

- (1) 議案第14号 根室市学校管理規則の一部を改正する規則  
結 論 原案どおり決定
- (2) 議案第15号 根室市教育委員会の所管に係る根室市個人情報保護条例施行規則を廃止する規則  
結 論 原案どおり決定
- (3) 議案第16号 根室市教育委員会電子公印規則の一部を改正する規則  
結 論 原案どおり決定
- (4) 議案第17号 根室市青少年センター条例施行規則の一部を改正する規則  
結 論 原案どおり決定
- (5) 議案第18号 根室市体育施設条例施行規則の一部を改正する規則  
結 論 原案どおり決定
- (6) 議案第19号 根室市みらいのアスリート・アーティスト応援事業実施要綱の一部を改正する訓令  
結 論 原案どおり決定
- (7) 議案第20号 根室市児童教室設置規則の一部を改正する規則  
結 論 原案どおり決定

## 2. 非公開案件の審議（会議録省略）

- (8) 議案第21号 根室市社会教育委員の解任及び委嘱について  
結 論 原案どおり決定
- (9) 議案第22号 根室市公民館運営審議会委員の解任及び委嘱について  
結 論 原案どおり決定
- (10) 議案第23号 根室市図書館協議会委員の任命について  
結 論 原案どおり決定

### その他

#### 1. 新型コロナウイルス感染症の発生状況について

<教育部長>

新型コロナの関係でご報告いたします。

本日、昨日から光洋中学校の生徒の感染がありその生徒のクラスが、今日になって12人が風邪症状で欠席することになり、朝校長先生と調整していたところ、その間に検査キットでさらに1名の陽性反応が出たという連絡がありました。1クラス中2名ということになるので、本日から25日火曜日まで光洋中学校1年2組を学級閉鎖という措置をとりました。

4月に入ってからご連絡している通り、学校閉鎖が相次ぎまして、まず4月11日から16日までが花咲小学校の学校閉鎖で、最終的には教員が12名・児童は9名の感染となりました。

続きまして4月16日日曜日の午後から19日まで厚床小・中学校を学校閉鎖としました。

こちらも教員が3名、児童生徒は各1名の感染でした。

今回の光洋中学校の学級閉鎖というところでこれから大型連休を控えており、生徒全員に抗原検査キットを2個ずつ配布し、各家庭で保管していただいて、学校から連絡があったときに検査をしていただくという対応をとりたいと思います。

今回の厚床のように、どうしても土日が入ってしまうので、状況に応じて検査キットを有効に使い、チェックしながら学校運営をしていくということで対応していきたいと思っています。

次に5月8日に5類に移行することになりますが、学校に関しては衛生管理マニュアルが文科省で作られており、それが今後改定されるという情報があります。

改定状況によっての対応になっていくと思いますが一般的には全て個人や事業主が自主的に判断をして、対策を実施するという形になっていくという情報が対策本部の方に入っております。

まずマスクは個人の判断に委ねることを基本とします。

手洗い等の手指衛生・換気は引き続き有効であるとの見解が示されています。

三つの密の回避と人との距離の確保については特に流行期においては注意するということ、また高齢者の方・環境が悪い場所・不特定多数の人がいるような混雑した場所については留意しながら生活していくということが、現在言われているところです。

私からは以上です。

## 2. 新型コロナウイルス感染症の5類引き下げに伴う学校教育活動について意見交換

<教育長>

前回会議の最後に宿題ということで5月8日の5類の引き下げに伴って、その後学校の教育活動に期待することについてご意見をお願いしていましたが、この段階でお話をさせていただければと思うのですがいかがですか。

<委員>

学校と地域との協力がまた再開していけたらと思っております。

そのために、新しく根室に赴任された先生とかに改めて根室の魅力を知ってもらい、それを生徒に伝えてもらうというのが、子供たちが一番影響受けるのは先生だと思いますので、先生の口から根室の魅力を語ってもらい、子供たちも根室に興味を持ってコミュニティスクールに繋がっていくと良いなと思いました。

以上です。

<教育長>

ありがとうございます。

初任者研修は来週でしたか。

<指導室長>

はい。25日に根室に新しく赴任された先生方を対象に、午前中はニホロで北方領土の返還について専門員による講話があり、午後からは地域巡検ということで半島方面の方にバスを借りて、先生方へ教育部長と社会教育課長から根室の魅力についてバスの中でお話をいただいたりということを考えております。昨年も同じような形で計画していましたが、コロナでできなかったもので、今年度はぜひ根室に赴任された先生方に、少しでも根室の魅力を知っていただいて、ふるさと教育に役立てていただきたく計画しているところでございます。以上です。

<教育長>

他いかがでしょうか？

<委員>

コロナ明け3年振りに一番象徴的な根室の出来事というのは、お祭りが開催されることだと思います。ある意味宗教行事なので、行政が関わるのはすごく難しいと思いますが、根室のお祭りはある意味文化だと思います。小・中学生がお祭りに実際に参加して根室の文化を感じ取ってもらって、根室の外に出た子も夏休みは根室に帰ってきてお祭りに参加してくれることが非常に多いと思います。

その中でこの3年間という空白期間はすごく大きいと思います。今一度小・中学生に、お祭りがどういう経緯でどういことが行われているか、どういうものがあるのか、どういうことなのかというのを学んでもらう機会というのは一つコロナ明けで必要なのかなと思います。

以上です。

<教育長>

ありがとうございます。

ご心配していただいたように、一応宗教行事なので教育委員会や学校として関わるというのは正直難しいです。

ただコミュニティスクール連絡協議会の中で担当が、地域として子供たちに空白だったお祭りの文化を地域として教えていくというようなことを学校と相談したりしていたと思います。

学校が率先してやるということにはできないですが、そのような中で子供たちにこの空白期間を埋めるようなことを取り組んでいただけるものと考えます。

ぜひその辺担当からお話があると思いますのでよろしくお願いします。

次いかがでしょうか？

<委員>

アフターコロナということですが、基本的には元の状態に戻した学校生活というのがベストなのかなと思います。

コロナ中の、マスクをしていて表情が見えないとか、昼食中も会話ができずに友達もよくできないという諸問題もあると思うので、元に戻すべきだと思います。しかし感染症の問題はこの後も何らかの形でまた別の状態が出てくるだろうと思います。その頃には、今回の教訓が生かされずにまた1からやり直すようなスタイルになるのかなと思いますが、今まで色々な対策をしてきたので、教訓をきちんと形にしておいて、万が一感染症の問題があった場合には速やかな対応をできるようにしたいと思います。また、対面できない分リモートでの授業などが盛んに行われましたが、感染症対策の為だけではなく、リモート授業にはいいところもあると思うので、コロナや感染症対策以外でも、生かせる部分については生かせるような工夫を今後も続けていけばいいのかなと思います。

少なくとも、今後については学級閉鎖・学校閉鎖が出てくるとは思いますが、あまり過敏にならずに少し様子を見ながら、元の状態に戻していければいいのではないのかなと個人的には思います。

以上です。

#### <教育長>

ありがとうございます。

3年っていうのは結構長くて、3年前の事を覚えてないということが多いと思います。

学校の行事もきっとそうだと思います。そのため、1から作り直すっていうのもあるのかなと思っています。

これから地域との繋がりも出てきますので、その中で相談しながら決めていくということになるのかなと思います。

他いかがですか。

#### <委員>

ほぼ戻していいのではないかなというふうに考えています。コロナがあったことにより得た恩恵というのがリモート技術の発展かなと思っています。根室という地域で、都会の文化やコンサートなど、なかなか聞けないことがすぐ聞くことができたり、有名な作家さんの講習とかをリアルに受けることが可能になったこと、移動時間がかからずに体験できるようになったことはすごく大きなメリットだと思います。その技術はそのまま残していただきたいと思っています。会議なども、会議時間だけ確認すればリモートで可能になるということは良かったことだと思います。その技術を残していきながら、上手に使っていければいいなとは思いますが、しかし、リアルな体験というのも絶対に大事だと思います。

音を聴くことについても、小さいスマホで見るのと、ホールで360度音が聴ける状態というのは全く違うことだと思います。

両方大事ということは、子供たちにもわかってほしいです。

みんなで決めたことを守ることと、それとは違う自分の考えを持つということも相反することですが両方大事だと思います。

全く違うことだけど、どちらも大事ということが存在するということを、体験として知ってほしいというのがコロナを経験して感じたことです。以上です。

### 3. 根室市学校における給食に関する意見書について事務局より説明

#### <教育総務課長>

根室市学校における給食に関する意見書についてご説明いたします。

令和5年3月28日、これまで学校給食に関して様々な協議を行っていただいております根室市学校における給食に関する検討委員会から意見書が提出されました。

1ページ目が、これまでの協議内容についてに取りまとめております。2枚目、令和4年11月30日から根室市の教育委員会から委嘱を受けて、根室市学校給食共同調理場の老朽化、公営化など、将来について望ましい給食のあり方について検討しております。

2ページ目になりますが、検討経過といたしまして第1回目を令和4年11月30日に実施しております。ここでの主な議案はアンケート調査の内容確認ということでこれは児童生徒のアンケート調査について、2つ目が学校給食の試食という、実際に学校で出されている給食について試食していただきました。

そこで出た意見といたしましては概ね美味しいということで給食調理員さん達に頑張っていただいているということでお声をいただいたのですが、その反面、おかずの品数を増やしてもいいのではないかなという意見も多数いただいたというところでございます。

いただいた意見を元に、児童生徒にアンケート調査を12月に実施をしております。

第2回目の会議を12月23日金曜日に実施しております。

①根室市の学校給食についてということで、こちら側の方から現状について再認識をするということで資料等お渡ししながらご説明をさせていただいております。多くの食数をこなしているという方々に評価をいただいたところではございますが、経費的な部分で、年間2億円の無償化を行っております。

②学校における給食に関する検討収入意見交換ということでこちらの方から、三つの視点での資料を提供しております。今後の施設を整備することにあたっては、公設公営の形をとるのか、また民間の事業者さんに建ていただいた後、市が運営するのか、または全てを民間に任せるか、この3点が大きくあるのではないかとということでご議論いただきました。

これからの給食について、アレルギー対応は確実にやっていかななくてはならない、考えていかななくてはならないということでした。

ただアレルギー対応するためには完全に調理ラインを分けないといけないということでございますので、アレルギー対応の部分では、公設公営であれば、過剰な施設整備にもなりかねないといったところがございます。

民営化になった場合には、給食費の無償化継続、また単価の見直しなど将来的な人口減少規模のバランスも考慮しなければならないということもご意見をいただいたところであります。

今年1月31日の会議で行った、12月に実施いたしましたアンケート調査結果報告について、若干説明をさせていただきます。10ページをお開きください。

結果を調査集計しておりますが、給食のアンケートで、1番目になりますが、「給食の時間を楽しみにしていますか」という問いに対して9割以上の児童生徒が楽しみにしていると言っております。8番目になりますが、「給食を残さず食べていますか」という問いに対し、「全部を食べる」365人に対して、「時々残す」・「よく残す」合わせて1000人を超える約73%の方が、給食を残してしまうという結果になっており、楽しみにしているけど残すという点が課題なのかなと考えております。

12ページをお開きください。学校給食協会の方で学校給食に関する教職員向けのアンケート調査の結果となっており、各委員にも結果報告をしたところであります。給食費についてというところで教職員の給食費は無償化に加わっていないけれども、他の市町村と比べると高く感じるというお声をいただいております。根室管内では、根室市が300円といったところです。

また2番目のメニューについてございますが、このままのメニューでは食育が難しいということでメニューの内容についてもご指摘をいただいております。主食主菜副菜汁物と栄養バランスが良いものを提供して欲しいなど、食育に関する意見が出されたというところであります。

また2ページに戻りますが、そのような意見をいただきながら現在、給食に概ね満足しているけども、残す割合が非常に多い、また食育に関するところも課題として浮き彫りになったということで認識をしました。また、この日同時に、スクールランチ、民間が提供している給食でございますが学校給食の方については1回目の会議で試食しております。

価格については課題がありますが、栄養のバランスやワンプレートの見栄えなど民間も工夫されており、アレルギー対応についても可能だということでもあります。

将来的には高校生の拡大の可能性も秘めているということでの評価をいただいております。

第4回目2月17日に実施した会議においては、これまでの経過を踏まえて意見書の素案ということで意見交換をしております。

第5回目3月22日に最終の会議ということで、意見書を最終のものに、差し替えて今回の意見書の内容確定となっており、3月26日に意見書の手交となりました。

意見書の中身でございますが、3ページ目をご覧ください。検討委員会が出された意見ということで、5つの項目がございますが、1つ目の学校における給食の一層の充実に関することということで、おかずの品数を増やしてほしい、人気のメニューを定期的に提供してもらいたい、スープ類、汁物はなるべくメニューに入れてもらいたい、主食副食飲み物のバランスに配慮したメニュー、また給食を残すことがないようメニューを常に工夫してもらいたい、学校へ通う楽しみがさらに増えるような温かくて美味しい給食を用意してもらいたいとの意見です。

2つ目の学校給食に関する施設等に関する部分ですが、施設の老朽化、狭あい化によってメニュー・品数が制限されているということなので、集約化を図って対応すべき。

また今後の施設機能にアレルギー対応が求められている。将来的な児童生徒数の推移に見合った施設規模、供給体制を検討すべきだ、ワンプレートなど好印象を与えるような食器を整備してほしい、食器の数を抑えて、子どもたちが配膳をする。これは食器の数が増えると配膳するのに時間がかかってしまうということから時間を削減して食べる方に時間を取った方がいいのではないかとのご意見をいただいております。こちらはアンケート調査で、食べる時間がないといったご意見もいただいております。

3つ目が学校における給食の安全性に関することでございますが、アレルギーがある子のための代替食についてであります。

今現在は、お弁当での対応ということになっておりますが、何かしら代替食を出して同じ給食を食べてもらいたいということで意見がありました。

4つ目に食育の取り組みに関することということで、給食のメニュー作りや食育指導を担う栄養士の確保をしてもらいたい。栄養士と根室市食生活改善協議会など地域の皆さんと連携して食育を行う、食材生産者から話を聞くという場を設けるなどの意見がありました。

5つ目に、その他学校における給食に関することで市内業者や製造業の業者を守っていく必要がある。給食調理員の雇用を守る必要があるのではないかと、関係する市内業者や調理員の声を守る上で調整機能を果たす学校給食協会を存続させるべきではないかと、学校給食の無償化をできる限り継続してもらいたい。教職員の給食費が他の管内と比べて高いのでその辺について配慮が必要ではないかと、根室高校生にも給食提供を視野に入れた方がいいのではないかと、ということとをいただいて、次ページ4ページになりますけれども検討結果を踏まえた最終意見ということでまとめてございます。

1つ目が、給食の提供に当たっては児童生徒の嗜好や発達段階に応じたメニューや量を提供することが重要であり、できる体制整備を行う。

2つ目が、人口減少、特に児童生徒数の減少を踏まえた持続可能な学校給食の供給体制。

3つ目でございますが、アレルギー対応を含め児童生徒が安心安全な食事をできる。食育の充実の観点から全校体制の中で食に関する指導ができるような配慮をすること。

4つ目が、地元の産物を大切にすることを育むこと。

5つ目としては給食の無償化をできる限り継続し、また根室高校への提供も視野に。

6つ目は、地元事業者維持・継続を保障できること。

7つ目としては、給食に関する人材を雇用することは、根室市の経済発展にも関わることであり、雇用の確保にも留意をしてもらう。

8つ目最後になりますが、教職員の給食費負担について管内4町とのバランスに配慮するということを伝えていただきました。

5ページ目になります。むすびになります。5回の委員会を通して、各委員におかれましては様々な問い合わせやご意見をいただいたところでございます。この委員会を通じて市学校給食施設3施設の老朽化や狭

あい化、アレルギー対応、今後の児童生徒数の減少と施設新設規模のバランスなどについて、いただいた意見を含めて、給食施設をどのようにしていくか。給食の方向性について、決定していくこととなります。簡単ではございますが説明とさせていただきます。

以上です。

<教育長>

ただいま説明がありました、給食に関する意見書について何かご意見等ありますか。

<委員>

第2回の会議で、「公設直営」「公設民営」「民設民営」の3パターンの検討資料があがっていたと思います。

一応、給食改革の目的の一つとして、3パターンのうち、どのパターンがいいかというのを示す。という最終意見の中でどのパターンがいいのかという一文が入ってなかったのも、その意見は出なかったのかという点と、もし出たならば意見として、なぜ記載しなかったのかを教えてください。

<教育総務課長>

案として3パターンを示しましたが、この委員会の中ではどれを選択するか決めるものではなく、今後の学校給食について、どのようなことに注意をしながら、留意しながらやっていくべきかというご意見をいただく場と考えております。

3パターンそれぞれ様々な課題があるということで協議を行いました。どのパターンを選択するのことは我々教育委員会が意見をもらいながらふさわしいものを選んでいくということだと考えております。

<委員>

最終意見も、安くしてほしい、地元のものを使ってほしい、美味しいものにしてほしいなど、方向性も決まり、もちろん全員の意見は決まっていらないのかなと思いますが、ある程度確定した一つの方向性というのを見せた方がわかりやすかったのかなと思いました。

以上です。

<教育長>

この検討委員会の中では、私達がこれから最終判断をしていく上での視点のようなものを提示していただきましたので、これを基に事務局で協議して、こんな方向性でいくというものを、整理していただいて教育委員会の会議で決定していくということになります。

その他よろしいですか。

<委員>

出された意見を全部守れたら、すごいなと思います。

残食が減るよという点と、給食の時間が楽しくなるよということに、ちょっと気になった点がありました。

4月から1年生になった子から聞いた話になりますが、学校楽しい？とかいう話を聞いて、給食は美味しい？とか給食の時間の過ごし方を聞いたら、先生がタイマーをセットして、その時間以内に生徒の半数が食べ

終わっていたら、もう給食の時間は終わりですという指導方法みたいです。食べ終わってない人は、もうその時間でおしまい、という指導で、もうちょっと楽しい雰囲気とかあると思いますが、言葉だけ聞いたらかなり印象が強かったです。確かに食べるのが遅かったり、ダラダラ食べられて困る気持ちもすごくわかりますが、そういう指導だと、残さないように食べようという指導はできていないということになると思います。

やはり、たくさん早く食べる子もいて、たくさんゆっくり食べたい子や、少食で早い子、少食でゆっくり食べたい子もいるので、それを給食の時間内で、それぞれのペースで食べることを許してもらえるような指導、先生方の指導というのもしてもらわないと、給食のメニューだけでは残食が減るよにというのは、難しいと思います。美味しければ、誰もが早く食べられるわけでもないし、全部食べるわけでもないと思います。

<教育長>

コロナ明けの対応に関わってくるとと思いますが、給食の時間は、楽しい時間であるべきと思います。

これからの給食の時間のあり方をどうしたらいいのかということについては、校長先生や教頭先生とも十分話し合いをしながら、考えていきたいなと思います。

やっぱり食育は大事です、ありがとうございました。

<教育長>

その他ございますか。

(特になし)

<教育長>

特にご発言もなければ、以上をもちまして、本日の委員会に付議されました議件の審議は全て終了いたしました。これをもちまして、令和5年第4回根室市教育委員会の会議を閉会いたします。

午前11時00分 閉会